教育だより

発行：芦別市教育委員会学務課

☎0124－27－7586

目次

1面　令和7年度芦別市における学校教育の重点について
2面　令和7年度教育予算について
3面　中学校部活動の地域移行（地域展開）の議論を進めています
　　クリーンDayを実施
4面　令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

令和7年度芦別市における学校教育の重点について

本市では、芦別市教育大綱の基本目標である「地域とともに、学ぶよろこびを実感できるまち」の実現に向けて、毎年度、学校教育推進計画を策定し、この計画において次の4つの重点目標を掲げて学校教育活動に取り組んでいます。

◆ 学ぶ力の育成

★子ども一人ひとりが、わかる・できる・楽しい授業づくりを進め、学びに向かう力と人間性をバランスよく育む教育を推進します。

○小中学校で統一した授業スタイル「芦別スタンダード」による授業改善と子ども主体の授業の実現
○デジタルドリルなどの学習支援ツールを活用した1人1台端末（タブレット）の持ち帰りによる「家庭学習の習慣化」の取組強化
○学習サポート教員や特別支援教育学習支援員の配置等による、習熟度別指導やグループ別等の少人数による授業の実施
○体験活動をとおして子どもたちが思い描く夢を広げ、実現できるキャリア教育の充実　など

◆ 豊かな心の育成

★子ども一人ひとりの人格のよりよい発達を促すため、生命を大切にする心や他を思いやる心など、豊かな心の育成を図ります。

○自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深めるとともに、他者との感じ方や考え方の違いを他と交流する「考え、議論する」道徳の推進
○学校、家庭、地域、関係機関と連携し、いじめや不登校などの未然防止と早期発見への取組
○郷土に誇りと愛着を持つ子どもを育成するための農業体験、木育、炭鉄港など地域と連携したふるさと教育の推進　など

◆ 健やかな身体の育成

★子ども一人ひとりが生涯を通じて運動に親しみ、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力の育成を図ります。

○「早寝 早起き 朝ごはん」運動などの取組による「望ましい生活習慣」の定着
○「一校一実践」（なわとびや持久走など）による体育的活動の推進
○市の保健師や関係機関などとの連携による健康教育の充実
○栄養教諭による計画的な食育指導の推進　など

◆ 地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

★学校、家庭、地域の三者による地域ぐるみの連携した取組により、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指します。

○学校運営協議会において学校の目標やビジョンを共有し、「学校の応援団」として地域総がかりで学校運営に参画及び協働してもらう取組の推進
○「学校だより」や「教育だより」などを通じた学校運営や教育活動に係る情報の共有化　など

今年度は、上記の取組のほかに、①中学校部活動の地域移行（地域展開）に向けた地域クラブの創設（3面参照）、②今後の児童生徒数の減少を見据えた小中学校のあり方等についての保護者・学校関係者などを構成メンバーとする会議体による検討、③芦別高校の確かな存続に向け、入学者の確保や魅力向上を図る取組などを進めていきます。

令和7年度教育予算について

本市の教育予算は、学校教育や社会教育の充実を図るため、学力向上、文化・スポーツの振興など、様々な取組を行い、子どもたちがより良い教育環境の中で学校生活を送ることができるよう、事業の目的に応じて予算を決めています。

今年度実施する事業とその予算について、一部を紹介します。

☆社会教育施設整備事業

〇総合運動公園内施設照明のＬＥＤ化に係る経費（１億７５５万円）

〇市民会館・青年センター照明のＬＥＤ化に係る経費（７，０８３万円）

☆地域とともにある学校づくり推進事業（４７万円）※３面に活動の一部を紹介

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の運営費など。

☆外国語教育推進事業（１，０７４万円）

小中学校に１名ずつ配置している外国語指導助手（ＡＬＴ）に係る経費など。

☆いじめ・不登校対策事業（６８万円）

教育・心理検査（Hyper Q-U※）に係る経費、適応指導教室のWi-Fi環境整備に係る経費など。

※Hyper Q-Uは、学校生活における児童生徒の満足度や意欲、学級集団の状態などを測定するアンケート（心理テスト）です。不登校やいじめの早期発見、学級集団の改善に役立てています。

☆文化・体育活動振興事業（２５８万円）

陸上教室（４面参照）や芸術鑑賞会などの開催委託や各種中体連の出場補助金に係る経費など。

☆特別支援教育推進事業（１，８２３万円）

小中学校に配置している学習支援員や特別支援学級補助員に係る経費など。

☆学力向上等事業（３８８万円）

英語検定などの各種検定料助成、学習支援ツール（ミライシード※）の利用に係る経費など。

※ミライシードは、AI搭載のデジタルドリルで、基礎学力の定着から、思考力・判断力・表現力の育成まで支援する学習ソフトです。子どもの理解度に応じて個別最適化した問題が出題され、一人ひとりの「できた」を引き出し、積極的な学習を促します。

☆情報化教育推進事業（１，２９９万円）

小中学校に整備したコンピュータ機器の保守、ＩＣＴの活用支援に係る経費など。

☆部活動地域移行（地域展開）（１３８万円）※３面に詳細を掲載

中学校部活動へ配置する外部指導者の報酬やスポーツ安全保険料、先進地視察に係る経費など。

☆就学援助事業（３５７万円）

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して支給する学用品費等の経費など。

☆学校給食事業（６，５７８万円）

小中学校の給食に係る経費など。（※令和６年度に引き続き小・中学生の給食費無償化）

☆地方創生塾実施事業（１５８万円）

芦別高校の生徒による高校生カフェや地域との交流事業等に係る経費など。

☆高等学校教育推進事業（１，０３２万円）

芦別高校の生徒及び保護者に対しての助成に係る経費など。

【芦別高校　修学費助成事業の拡充について】

①学習用端末購入費助成（新規）

令和７年度から、芦別高校に入学した生徒の保護者に対し学習用端末購入費の半額（上限５万円）を新たに助成します。

②修学奨励費助成金

これまでは、芦別高校に入学した生徒のうち、芦別市内に住所を有している保護者に「どんぐり商品券」１０万円分を交付していましたが、令和７年度の入学者から芦別市外に住所を有する方も対象とします。

中学校部活動の地域移行（地域展開）の議論を進めています

教育委員会では、国や北海道の方針を踏まえ、中学校の生徒にとって望ましい部活動環境の構築や地域のスポーツ・文化団体との連携による持続可能な部活動環境の整備について検討するため、令和５年１０月に市内スポーツ団体及び文化団体関係者、小中学校の校長及び児童生徒の保護者、公募に応じた市民などで構成される「芦別市部活動改革検討協議会」を立ち上げ議論するなど様々な取組を進めてきました。令和６年１２月には同検討協議会から提言書の提出を受け、教育委員会として次のような方針を決定しました。

●これまでの取組

◎検討協議会の開催（令和7年6月1日現在 12回）
◎児童生徒及び保護者を対象としたアンケート調査の実施
◎先進地視察（登別市・留萌市・安平町）
◎部活動の種目がある競技団体等との意見交換

↑検討協議会の様子

●部活動改革検討協議会からの提言書

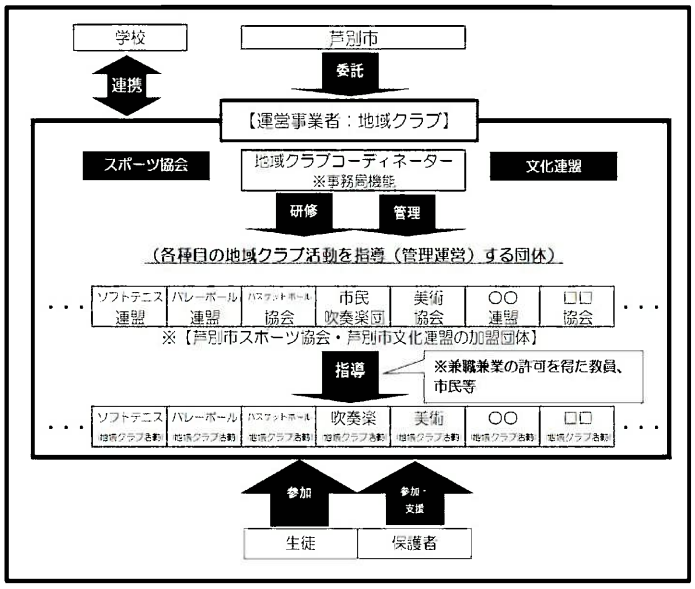
中学校の部活動を含めた地域のスポーツ・文化芸術活動全体を持続可能なものとするため「地域クラブ」を創設すること、また、中学校の部活動を「地域クラブ」に移行する時期については令和８年４月を目標として、その受け皿となる「地域クラブ」については令和７年度中に創設していただきたい。

●提言に対する教育委員会の方針

◎令和７年度中に「地域クラブ」を創設する。
◎地域クラブ創設までの間、部活動の地域移行について先行実施を進める。
◎地域クラブへの移行が困難な部活動については、広域的な取組に向け、拠点校方式※による体制を整備するなど、近隣市町と協議を進める。

※拠点校方式とは、１つの学校を活動場所として設定し、他の学校からも参加できる部活動の仕組みです。在籍校に希望する部活動がない場合や、専門的な指導者がいない場合に、拠点校へ集まって活動を行います。

【 地域クラブのイメージ図 】



今年度は、検討協議会の中に準備部会を設けて地域クラブの詳細な運営方針などについて検討するとともに、先進地視察を行うなどして議論を深めていきます。

クリーンDayを実施

４月２１日、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）によるクリーンDayが実施され、子どもたちが自宅から通学路のごみを拾いながら登校しました。

当日は、児童生徒の安全確保のため、町内会の協力のもと、地域の方々に学校周辺の交差点での見守りをしていただきました。

これまでは、芦別小学校部会と芦別中学校部会が実施していましたが、今年度からは上芦別小学校部会も加わり実施しています。

次回は９月２６日（金）に実施しますので、当日は子どもたちに温かいお声かけをお願いします。

←上芦別小学校部会におけるクリーンDayの様子（４月２１日）

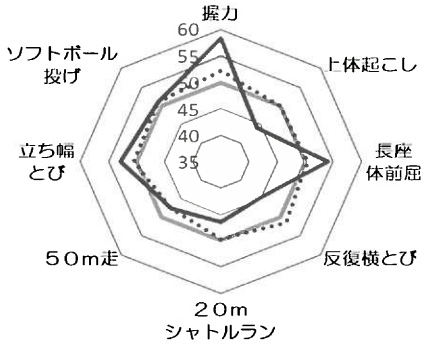
令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

この調査は、文部科学省が子どもたちの体力の状況を把握・分析することなどを目的に、全国の小学校５年生・中学校２年生を対象に、５０m走などの８種目で実施しているものです。本市でも、昨年の４月から７月にかけて実施しました。今後は分析した調査結果を基に、引き続き子どもたちの体力向上に向けた様々な取組を実施していきます。

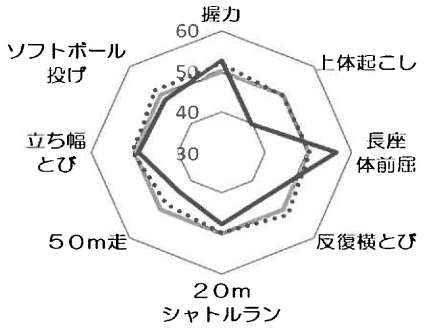
芦別市 ━━　北海道 ┅┅　全国 ──

グラフは、全国を５０とした場合の、北海道及び芦別市の数値を示したものです。

小学生男子

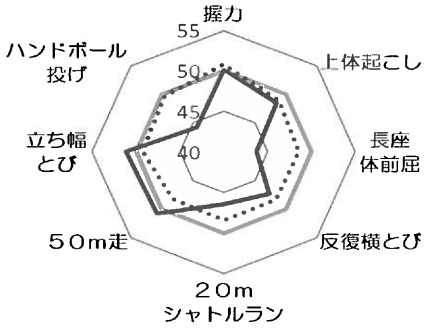


小学生女子

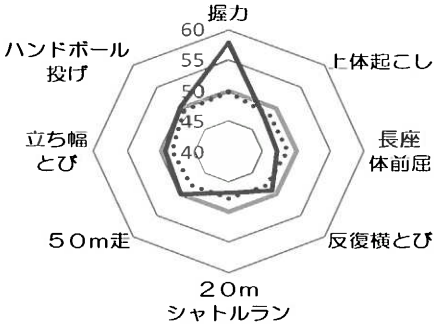


男子は「握力」「長座体前屈」「立ち幅とび」の３種目、女子は「握力」「長座体前屈」の２種目で全国・全道を上回っていますが、男女とも「上体起こし」「反復横跳び」「２０mシャトルラン」が全国・全道と比べて下回っていることから、持久力・敏しょう性に課題があります。

中学生男子



中学生女子



男子は「５０m走」「立ち幅とび」の２種目で、女子は「握力」「５０m走」「ハンドボール投げ」の３種目で全国・全道を上回りましたが、「上体起こし」「長座体前屈」「２０mシャトルラン」が全国・全道を下回っていることから、筋力・柔軟性・持久力に課題があることがわかります。

特に「２０mシャトルラン」は小学校でも全国・全道を下回っていることから、小中学校が連携して改善に向けた取組を行う必要があります。

各学校における体力向上の取組

各学校では、体力向上を推進する１校１実践（なわとびや持久走など）の取組を実践しています。

また、５月１４日には、芦別小学校と上芦別小学校の５・６年生を対象に専門家を招き、なまこ山陸上競技場において「陸上教室」を開催しました。

この取組は、昨年度に続き実施するもので、運動会に向けて走り方などについて、両小学校で交流しながら楽しく学びました。

↑陸上教室の様子（5月14日）

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年３回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」,「ファックス」,「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711　芦別市北１条東１丁目３番地　芦別市教育委員会学務課学校教育係
【電　話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696
【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp